

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチ上でのネットワーク タイム プロトコル (NTP) の設定例を紹介します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- Nexus 7000 シリーズ スイッチの設定に関する基本的な知識がある
- NTP の基本的な知識があること。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Nexus 7000 シリーズ スイッチに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) は、分散している一連のタイム サーバとクライアント間で 1 日の時間を同期させ、複数のネットワーク デバイスから受信するシステム ログや時間関連のイベントを相互に関連付けられるようにします。NTP ではトランスポート プロトコルとして、ユーザ データグラム プロトコル (UDP) を使用します。すべての NTP 通信は UTC を使用します。

シスコでは、インターネットで使用できるパブリック NTP サーバを使用することを推奨します。ネットワークがインターネットから分離している場合は、Cisco NX-OS では NTP サーバで同期されている時間を設定することができます。

設定

このセクションでは、このドキュメントで説明している NTP 機能を設定するために必要な情報を提供します。

Nexus 7000 スイッチの NTP を設定するには、NTP を実行している 1 台以上のサーバに接続する必要があります。

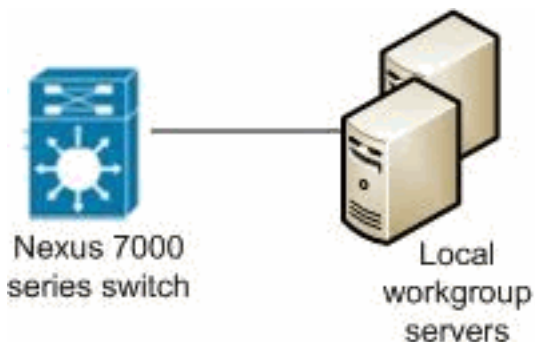
NTP は、デフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) で設定する必要があります。他のいずれの VDC にも設定できません。

VRF で NTP を設定する場合は、NTP サーバおよびピアが、設定された VRF を介して相互にアクセスできることを確認します。

注このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) (登録 ユーザ専用) を使用してください。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。



設定

このドキュメントでは、次の設定を使用します。

Nexus 7000 スイッチ

```
Nexus_7000#configure terminal!--- Form an association
with a server. Use the prefer keyword to make this server
as preferred NTP server.Nexus_7000(config)#ntp server
129.6.15.28 preferNexus_7000(config)#ntp server
129.6.15.29!--- Configure the source interface for all
NTP packets.Nexus_7000(config)#ntp source-interface
```

```
vlan1!--- Configure the device as an authoritative NTP
server.Nexus_7000(config)#ntp master
1Nexus_7000(config)#interface vlan1Nexus_7000(config-
if)#no shutdownNexus_7000(config-if)#no ip
redirectsNexus_7000(config-if)#ip address
172.20.100.34/24Nexus_7000(config-if)#ip address
172.20.100.30/24 secondary!--- Save the configurations
in the device.Nexus_7000(config)#copy running-config
startup-configNexus_7000(config)#exit
```

確認

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

[Output Interpreter Tool](#) (OIT) ([登録ユーザ専用](#)) では、特定の **show** コマンドがサポートされています。OIT を使用して、**show** コマンド出力の解析を表示できます。

NTP のピアをすべて表示するには、[show ntp peers](#) コマンドを使用します。

次に、例を示します。

```
Nexus_7000#show ntp peers----- Peer IP Address
Serv/Peer ----- 127.127.1.0
Server (configured) 129.6.15.28 Server (configured) 129.6.15.29
Server (configured)
```

すべての NTP サーバとピアの状態を表示するには、[show ntp peer-status](#) コマンドを使用します。

次に、例を示します。

```
Nexus_7000#show ntp peer-statusTotal peers : 3* - selected for sync, + - peer mode(active), - -
peer mode(passive), = - polled in client mode remote local st
poll reach delay vrf-----
-----=127.127.1.0 172.20.100.34 1 64 0 0.00000 *129.6.15.28
172.20.100.34 1 64 377 0.03938 default=129.6.15.29 172.20.100.34
1 64 377 0.01804 default
```

NTP のロギング ステータスを表示するには、[show ntp logging-status](#) コマンドを使用します。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチのサポート](#)
- [NTP サポート](#)
- [スイッチ製品に関するサポート ページ](#)
- [LAN スイッチングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)